

令和3年度事業報告

1、総括的事項

我が国は、高齢化率が既に28.8%に達し世界に類を見ない超高齢社会が進行しており、少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念されています。

高齢化、少子化が進む中、日本経済の活力を維持していくためには、働く意欲のある高齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが不可欠とされており、就業を通じて高齢者の福祉増進に資するシルバー人材センター事業の重要性と地域社会の期待は一層大きくなっております。

しかしながら、一昨年から続く新型コロナウイルスの流行で雇用情勢をはじめ社会経済は大きな打撃を受け、当センターにおきましても契約金額及び就業件数が減少するなど大きな影響を受けました。また、運営面におきましても、定時総会の規模縮小や各講習会の開催中止を余儀なくされました。

このような状況において、当センターは、新型コロナウイルス感染拡大防止や健康確保に努めながら、地域社会の一員として積極的に就業開拓活動及び普及啓発活動に取り組み、高齢者の活躍の場を提供するとともに、様々な社会活動に参加することで、生涯現役社会を目指してまいりました。

2、個別事項

(1) 会員の拡大

会員の拡大については、今年度も引き続きアトラス萩店でのパンフレット・チラシの配布、新聞折込みによるPR等を積極的に実施するとともに、北浦3市シルバー人材センター（萩広域・長門・美祢）共同事業による会員募集広告を行いました。

山口県シルバー人材センター連合会が行う「会員紹介報奨制度」を活用し、今年度は5名の入会がありました。今後も会員のロコミ活動などによる「会員1人1会員獲得運動」の取り組みを推進し、更なる会員拡大に努めます。

(2) 事業実績

請負・委任による受注件数は2,848件で、前年度に比べ156件減少し、契約金額は1億9,705万9,973円で前年度に比べ42万3,344円の減額となりました。

職種別の実績では、建物管理が7,112万4,433円で71万9,411円の増

額、草刈り作業が3,602万3,126円で17万9,656円の増額、農林水産作業（伐採作業、ABUキャンプフィールド芝植栽作業等）が347万8,325円で93万7,919円の増額、屋内清掃が2,087万3,542円で85万6,850円の増額、広報関連サービス作業（市報・選挙公報等仕分け作業）が197万5,214円で29万366円の増額、剪定作業が1,393万9,321円で129万3,842円の減額、その他の事務（校正作業）が今年度契約無しのため40万9,106円の減額、草取り作業が783万4,630円で57万5,443円の減額、家事援助サービスが235万7,763円で64万1,364円の減額になりました。

一方、契約金額の事務所別の内訳では、対前年比で 萩事務所98.9%、阿武出張所101.5%、むつみ出張所99.0%、須佐出張所100.9%、田万川出張所102.5%となり萩広域全体で99.8%となりました。

派遣事業は、23事業所へ64人の会員を派遣し、契約金額は5,265万1,073円で、前年度に比べ130万9,418円の減額になりました。

この結果、請負・委任事業と派遣事業の合計は2億4,971万1,046円で、前年度に比べ173万2,762円の減額になりました。

（3） 就業機会の開拓・拡大

シルバー事業の発展を図るため、会員の就業ニーズに応じた多様な就業機会を確保しつつ、高齢者にふさわしい臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を発注者より請負・委任あるいは、労働者派遣事業で引き受け、会員の希望、知識、経験等を考慮しながら、就業機会の提供と確保に努めました。

（4） 安全就業の推進

シルバー事業において「安全はすべてに優先する」を理念のもと、会員の安全就業を確保し、安心安全に就業できるよう取り組みました。

本年度は、当センターの安全パトロールとは別に、10月に当センターにおいて県連合会主催の安全パトロールが開催され、剪定、草刈作業に対する安全就業の指導点検を行うとともに安全就業の周知徹底と意識の高揚を図りました。

また、派遣運転業務就業会員を対象とし、10月7日から1月21日の間、萩自動車学校で開催された交通安全定期診断を19名、萩市主催の交通安全講習を1名が受講し交通安全に対する意識の高揚に取り組みました。

令和4年度は、怪我、事故ゼロを目指し会員の皆様と共に安全就業に努めていきます。

（5） 適正就業の推進

適正就業・就業拡大委員会（委員12名）を開催し、仕事の配分調整等を行いま

した。また、継続就業の長期就業の是正を図るため「適正就業に関する運用基準」に基づき、就業機会の公平化を図りました。

(6) 研修会・講習会の開催

事業の普及啓発、会員の増強、会員の技術・技能の向上を図り、県連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業の剪定講習会、センター主催の福祉・家事援助サービスの就業において役に立つ料理教室を予定しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大、まん延防止等重点措置期間等のため、今年度は中止となりました。

(7) 労働者派遣事業の推進

会員の多様な就業機会の拡大を図るため、発注者において社員との混在就業や指揮命令下にある等請負契約に適さないものに関し労働者派遣事業で対応し、事業の適正化ならびにコンプライアンス（法令遵守）を推進しました。

シルバー派遣事業衛生委員会では、衛生委員会2回開催しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大等のため、健康講習会、衛生委員会2回（年4回予定）が中止になりましたが、衛生委員会開催後「衛生委員会通信」を発行するなど、派遣労働者の健康管理を図りました。

今年度の派遣労働者教育訓練は、県連合会主催による労働関係法講座が開催され、18人が受講しました。